



平和への思いを声にしたい
静岡のなかまたちによる
リーディングです。



全国同時多発ピースリーディング2017

それゆけ 安全マン!?

～レントゲン・チェルノブイリ・フクシマ～

主催／非戦を選ぶ静岡演劇人の会 (構成・脚本／相馬杜宇・清水弥生)

5月6日(土)開演18:30(開場18:00)

会場／アイセル21 1Fホール

静岡市葵区東草深町3番18号

入場無料
カンパをお願いします



【上演作品のあらすじ】

この朗読劇では、前半は原子力発電に関する政策がどのように推進され、それをどのように自分たちは受容してきたか、放射能に対する社会の認識の変化について、事実を中心に語っていきます。
後半は原発事故をきっかけに、原発をテーマにしたお芝居を創ろうと決意した高校生演劇部員たちが、みずみずしい感性を持って、原発を「安全」「安心」と語る人々と対峙していきます。実在する人々の証言にふれながら、原発を支える差別構造、はらんでいる矛盾を示し、脱原発の可能性を模索していく作品です。

【リーディングとは】

台本を手に持ちながら登場人物の台詞を読むこと。
舞台装置が何もなくとも、台本とそれを読む人がいれば成り立つ表現です。

●お問い合わせ先
090-1744-7008 (あべよしみ)
hippoabe@gmail.com



全国同時多発ピースリーディング2017 それゆけ安全マン!?

～レントゲン・チェルノブイリ・フクシマ～

上演にあたって

一昨年の夏、「非戦を選ぶ静岡演劇人の会」が発足いたしました。

これは、関東で活動している「非戦を選ぶ演劇人の会」が開催しているピース・リーディングという朗読劇スタイルでの公演を静岡でも行っていきたくと、スタートしたものです。

(「非戦を選ぶ演劇人の会」は、2003年のイラク戦争と自衛隊派遣に反対し、会を立ち上げ、その後も毎年、戦争に繋がる現実を見つめ、実在する様々な人々の声を丹念に集めることで台本を構成し、ピースリーディングを行ってきました。)

その「非戦を選ぶ演劇人の会」の提起に応え、3/11～5/19の期間中、多くの地域で『全国同時多発ピースリーディング2017』が開催されています。私たちも昨年に引き続き、平和への思いを声に出して届けたいメンバーが集まりました。演劇人だけでなく、人前で朗読するのは初めてという人たちも一緒に、力を合わせ準備を進めています。

今回は、6年目の「3.11」に向き合うひとつの方法として、原発と放射能の問題がテーマの「それゆけ安全マン!？」を選びました。世界一危険といわれる浜岡原発を抱える静岡だからこそ、取り組むべき作品だと思います。

みなさま、ぜひともご参加ください。そして私たちと一緒に考えてください。

昨年のピースリーディング「明日、戦場に行く」(2016.5.8アイセル21ホールにて開催) お客様のアンケートより

- 平和について本当にわかりやすく、集中して夢中で聞けた。私自身もっと勉強しなくてはと思う。子供たちにリレーしていきたいです。小さな力もひとりひとりが出せば大きくなる。幸せな日本になりますように。(30代・男性)
- 来てよかったです。ネットでいろいろ漁って「知っているつもり」でも、個々の情報や知識をまとめるのには「物語」は必要だと思いました。(50代・女性)
- ニュースをうのみにしていることに気がつきました。とても勉強になった。8回の練習とは思えない迫力の演技で、聴き入ってしまいました。(50代・女性)
- とにかく驚きと感動でした。少し難しい内容で、私の知識ではついていけないことばかりでした。これをきっかけに「知らない」、「なんとかなる」ではなく、知るために学びたいと感じさせられました。このような会をつくってくださった皆様に感謝です。(20代・女性)